

【定例公演】

狂言 鎌 腹 Kyogen KAMABARA

能 松 風 Noh MATSUKAZE

10月16日(金) 午後6時30分開演

11月 6日(金) 午後6時30分開演

12月18日(金) 午後6時30分開演

演出の 様々な形

— Different Styles of Direction —

演出の 様々な形

— Different Styles of Direction —

能・狂言は、長い歴史を経るなかで、同一の曲でも様々な演出上の工夫が施され、流派や、同じ流派の中でも家によって、違った上演の様式を保っています。

今回は演出によって三つの結末を持つ狂言「鎌腹」と、秋の名曲、能「松風」を三ヶ月にわたって上演します。

「松風」は各回とも違った小書演出でご覧いただけます。秋の夜長、国立能楽堂で演出の様々をお楽しみください。

狂言 鎌腹

Kyogen KAMABARA (Unsuccessful Strike Suicide)

夫の太郎が怠けて山へ薪を取りに行かないので、妻は怒って鎌を結びつけた棒をふり上げて追い回します。仲裁人が入り、妻を連れて立ち去った後、ひとり残った太郎は「女に侮辱されるより死んだ方がよい」と、鎌を腹へ突き刺そうとしますが、気がおくれ死にきれません。結局、死ぬのはやめることになりましたが、太郎がひとり鎌で死のうとする独演が見どころですが、結末は流派や家によって様々です。死ぬのをあきらめて山に行く演出、妻が止めに來るので仲直りして共に帰る演出、止めに來た妻に代わりに死んでくれと頼んで追い込まれる演出があります。

能 松風

Noh MATSUKAZE (Priming Wind)

月の美しい秋の夜、須磨の浦を訪れた僧の前に、汐汲み車を引きながら、ふたりの海女が現れます。塩屋に泊めてもらった僧が在原行平ゆかりの松のことを口にする、ふたりは涙を流し、実は行平の愛を受けた松風村雨姉妹の亡霊であると明かします。行平の形見の装束を取り出して恋慕にむせび、その装束を身につけて舞う松風は、行平と思い込んで松にすがります。安執にくるしむ身を叩つてほしいと僧に頼み、村雨のように聞こえる松風が吹くなか、ふたりの姿は夜明けと共に消えてゆくのでした。

「古今和歌集」の行平の歌や「源氏物語」須磨の巻を背景とし、前半の汐汲みの風情と後半の恋慕表出を詩情豊かに描いた名作です。今回はさらに各月とも違う小書演出で上演。各流派の特徴をお楽しみいただけます。

定例公演

10月16日(金)午後6時30分開演

狂言【大蔵流】

鎌腹

シテ/太郎 山本則重
アド/妻 山本則秀
アド/仲裁人 山本則俊

松風

身留

シテ/松風 粟谷明生
ツレ/村雨 大島輝久
ワキ/旅僧 森常好
アイ/須磨の浦人 山本泰太郎
笛 松田弘之
小鼓 曾和正博
大鼓 白坂保行
後見 中村邦生
友枝 友枝雄人
佐々木多門 内田成信
佐藤陽 狩野了一
栗谷浩之 長島茂
友枝真也 金子敬一郎

11月6日(金)午後6時30分開演

狂言【和泉流】

鎌腹

シテ/太郎 小笠原匡
アド/妻 能村晶人
小アド/仲裁人 野村万禄

松風

戯之舞

シテ/松風 観世鏡之丞
ツレ/村雨 谷本健吾
ワキ/旅僧 福王和幸
アイ/須磨の浦人 吉住講
笛 藤田六郎兵衛
小鼓 大倉源次郎
大鼓 國川純
後見 浅清水寛二
見 浅見慈一
川口晃平 小田切康陽
松山隆之 山崎正道
長山桂三 梅若玄祥
角当 直隆 馬野正基

12月18日(金)午後6時30分開演

狂言【大蔵流】

鎌腹

シテ/太郎 茂山正邦
アド/妻 茂山あきら
アド/仲裁人 網谷正美

松風

灘返

見留

シテ/松風 田孝史
ツレ/村雨 邊茂人
ワキ/旅僧 村山弘
アイ/須磨の浦人 茂山司
笛 山童
小鼓 一噌幸弘
大鼓 河村真之介
後見 宝生和英
和 久莊太郎
内藤飛能 金井雄資
東川尚史 三川淳雄
高橋憲正 小倉敏克
小倉伸一郎 東川光夫

※終演予定午後9時15分頃

※全公演字幕付です(日本語・英語)

- 予約開始 【10月16日】9月9日(水)午前10時～ 【11月6日】10月9日(金)午前10時～ 【12月18日】11月9日(月)午前10時～
【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時～午後6時] 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]
【インターネット】 <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン] <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]
※詳細は上記ホームページをご覧ください。
プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/> e+(イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj>
- 窓口販売開始 【10月16日】9月10日(木) 【11月6日】10月10日(土) 【12月18日】11月10日(火)
チケット売場 [午前10時～午後6時] ※窓口販売用は別枠でのお取り置きはございません。
- 入場料金 正面 4,900円 脇正面 3,200円 中正面 2,700円 | 学生:脇正面 2,200円 中正面 1,900円
※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。 ※出演者などの変更の場合はご了承ください。



JR(能武線)千駄ヶ谷駅下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口・徒歩5分
東京メトロ(副都心線)北参道駅下車 出口1または2・徒歩7分
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3423-1331(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>